

## 新たな日常の実現に向けて

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いテレワークをはじめとするリモートサービスの活用が進み、地方移住の機運が高まるなど働き方や生活様式が大きく変革してきています。

また、感染拡大により顕在化した課題を克服した後の新しい未来となる「新たな日常」を構築する原動力となる社会全体のデジタル化を推進していくことが求められています。

## 大野市電子自治体推進指針の改訂

(令和2年7月改訂)

### (1) 市民サービスの向上

- 市ホームページやSNSなどの活用（大野市公式ライン、大野市公式facebookの活用）
- 電子申請・施設予約システムの活用（ふくe-ネット、マイナポータル・ぴったりサービス）
- 書面・押印・対面を減らすための行政手続きの見直し
- キャッシュレス決済の導入
- マイナンバーカードの普及促進
- リモート会議の活用による非接触型の対応
- ICT機器を活用した学習活動の推進

など

### (2) 行政内部の事務の効率化

- 電子決裁システム、RPA、会議録作成支援システムなどの導入
- リモート会議に必要な環境の整備
- 自治体クラウドシステム導入の検討

など

### (3) 情報セキュリティ対策の強化

- 情報セキュリティ対策の実施

など

# 新たな日常を実現するためのデジタル化の推進

## 取り組み概要

|   |  |
|---|--|
| <p>○ リモート環境整備事業</p> <p>【14,527千円】</p>   | <p>リモート会議ができる環境を整備し、審議会・説明会等での活用、オンライン講座の開催、子育て相談、リモートでの交流事業など、市民の非接触型の生活の定着を図る</p> <p>また、行政事務でのリモート会議も促進し、職員のデジタル化への意識改革を進め将来的なテレワークの推進に資する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット用パソコンの更新 36台</li> <li>・モバイルWi-Fiルーターの整備 10台</li> <li>・リモート会議用カメラ、スピーカーマイク等の購入</li> <li>・各公民館インターネット配線改修</li> <li>・子育て支援センター内インターネット環境構築</li> </ul> |
| <p>○ キャッシュレス決済推進事業</p> <p>【1,898千円】</p>   | <p>住民票などの諸証明の発行手数料、施設使用料のほか、休日急患診療所や和泉診療所の診療費などの支払いを、キャッシュレスで行うことを可能にし、市民の利便性の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済用機器の整備(市民生活課窓口、休日急患診療所、和泉診療所)</li> <li>・QRコードの掲示施設の追加(各公民館など13カ所を予定)</li> </ul>   |
| <p>○ 観光フリーWi-Fi整備事業</p> <p>【1,404千円】</p>  | <p>観光拠点において、大野市の観光情報を手軽に入手できるよう無料Wi-Fiが未整備の施設においてWi-Fi環境を整備し、観光客の利便性の向上と観光地としての魅力度アップに資する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料Wi-Fiの整備(フレアール和泉、旧内山家、旧田村家)</li> </ul>   |
| <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賦課徴収事務経費【719千円】</li> <li>・ 庁内ネットワーク運用経費【1,773千円】</li> </ul> | <p>上記のほか、デジタル化に資する取り組みを進め、行政事務の効率化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋の所有者との接触を極力減らすため、家屋評価タブレットを導入し、家屋調査にかかる作業時間の短縮を図り、併せて事務負担の軽減、効率化に資する</li> <li>・庁内ネットワークの拡充を図るべく、未整備の児童館へのインターネット環境を構築する</li> </ul>   |